

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 詩篇 16:8-9 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 25番 多くの冠
- *交読文 …… 7番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 150番 み墓ふかく
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:浪川執事 天声:小林伝道師
- 賛美 …… 458番 主のみてにたよる日は
- メッセージ …… 疲れた人、重荷を負っている人は来なさい(マタイ 11:28-30)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …… 456番 主とともにあゆむ
- 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

重荷を負うて苦労している____は、わたしのもとにきなさい。____を休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、____の魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」。(マタイ 11:28-30)

主は____の嗣業、また____の杯にうくべきもの。あなたは____の分け前を守られる。測りなわは、____のために好ましい所に落ちた。まことに____は良い嗣業を得た。____にさとしをさずけられる主をほめまつる。夜はまた、____の心が____を教える。____は常に主を____の前に置く。主が____の右にいますゆえ、____は動かされることはない。このゆえに、____の心は楽しみ、____の魂は喜ぶ。____の身もまた安らかである。あなたは____を陰府に捨ておかれず、あなたの聖者に墓を見させられないからである。あなたはいのちの道を____に示される。あなたの前には満ちあふれる喜びがあり、あなたの右には、とこしえにもろもろの楽しみがある。(詩篇 16:5-11)

私達には、負わなくてはならない色々な重荷がある。為すべき仕事、養うべき人、備えなくてはならない将来など。また、人間関係の重荷もあるし、病という重荷も、そして何より、罪の性質を持った自分自身という重荷がある。全ての人々はこうした重荷を負って、喘ぎながら生きている。それでイエス様は、言われた。「わたしの元へ来なさい。全て、疲れている人、重荷を負わされている人。そうすればわたしがあなたがたを休ませてあげよう。」(マタイ 11:28) イエス様は「わたしが」休ませると強調された。真に休ませて下さるお方は、ただイエス様である。だから疲れた時、重荷を負っている時、真っ先に呼ぶべきはイエス様である。

私達は思うかもしれない。今負わされているこの重荷を降ろせば楽に、自由になれる、と。もちろん、負ってはならないくびきがある。それは、不信者とのくびきであり(2コリント 6:14)、また、肉の奴隷のくびき(ガラテヤ 5:1)である。こうした明らかにイエス様のご性質には無い重荷は、振り払うべきである。しかし主から取って負わされている重荷、振りほどいてはならないくびきがある。そのくびきとは、誰かを(あるいは集団を)、養い、守り、導くべき責任かもしれない。あるいは、神の国のための特別な使命かもしれないし、さらなる成長のための訓練かもしれない。時にはそれを重く感じ、到底自分には負えないと思えるかもしれない。しかしイエス様は、荷を降ろしなさいとは言っておられないし、そして、一人で負いなさいとも言っておられない。『あなたの方の上に、わたしのくびきを担ぎなさい。そして学びなさい。柔和(ブラオス)で、心(カルディア)において低くなった私から。そうすれば、あなたがたの魂に憩い(アナパウシス)を見出すであろう。』(29 節) くびきとは、二頭の動物を横木でつないで一つにし、縦棒でもって土地を耕したり、荷車を引いたりする道具である。イエス様が担ぎなさいと言われた「イエス様のくびき」は、彼と二人三脚となって、耕すべき所を耕し、または運ぶべき人やものを運んだりするものである。くびきの片方は、既にイエス様が担いでおられる。私達は、そのもう片方のほうに頭を差し入れ、イエス様と共に二人三脚でかついで進んで行くのだ。

人はどういう時、重荷を辛いと感じるか。それは、願っている事ではない事を、しなければならない時、あるいは自分が理想と思っている状態とは、別の状態を強いられている時などだ。主から任せられた重荷は実は負いやすく、また軽い。それを重く苦痛に感じるとするなら、その根源は「善悪を知る木の実」ゆえである。もっと怠けていたい、もっと遊んでいたい、勉強なぞしたくない、楽をしたい、そういうった、主の御心から離れた願望と、でも現実はそのはいかない、というような、本当はしくてもいい葛藤こそ、その原因である。イエス様がここで「命令形」で言われた動詞は、「(イエス様のくびきを)担いなさい」、そして「学びなさい」。私達が学ぶべき相手はイエス様であり、イエス様から学ぶ姿勢はブラオス(柔和、従順)と、またカルディア(思い、意志、感覚)を、低くする事。するなら、アナパウシス(安息、憩い)を見出す、とイエス様は言われた。イエス様のくびきを振りほどいて、あれをしたい、これをしたい、と、じたばたする思い(カルディア)、すなわち主から離れた「善悪判断」を降ろし、頭を差し出してイエス様のくびきを背負い、イエス様と歩調を合わせて行くなら、たとえその重荷がどんなに重くても、イエス様が共に運んでくださる故に、その荷は軽く、また心地よくなる。「というのは、わたしのくびきは心地よく(楽で)、そしてわたしの重荷は軽いから。」(30 節)

農夫は、くびきに慣れない若い牛を、とげのついた棒によって慣らししていく。同様に、主の御心から離れた身勝手な願望をどうしても手放さない聖徒に、主は「とげのついた棒」を当てられる。若い牛は最初、くびきを窮屈に思い、振りほどこうとして、棒を蹴るのだが、蹴ると、とげがそのまま自分に食い込んで痛い目に遭う。それで牛は、次第にくびきに逆らう事を止め、やがてはくびきに慣れて、主人と共に仕事をする事に安息を見出すようになって行く。主に愛されている人は、同様に主から扱われ、くびきに慣らされていく。

くびきの一つの穴には、イエス様が既に首を通しておられる。そのくびきの他方の穴に首を通すのは、私達である。私達がそこに首を通し、主と共にくびきを負って行くなら、イエス様が私達と共に歩み、負いきれなかった重荷は軽くなり、心地よくなり、そして福音の種が入らなかった硬い大地はイエス様と共に耕され、良い地となって行く。だから私達はイエス様のくびきに首を通すべきなのだ。イエス様にならって柔和となり、心を低くし、たましいに安息を得て行く私達でありますように。イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第18巻18号

2023年4月30日

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 11:30 開始
交わり 13~14 時
English Service 14 時半開始

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:00~

水曜礼拝

1 部 13:00~
2 部 19:00~

金曜祈祷会

19:00~

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅

6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分

JR・関内駅より徒歩 10 分

京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、

伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

